

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」事業について

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」では、女性研究者を含む若手研究者の登用を進めながら、組織の中核において大学の管理運営を担うことのできる女性教員の育成に向けた取組を通して、女性研究者の研究力向上及び上位職登用をより一層支援し、促進します。

本事業における目標は次の通りです。

目標

- I 女性教員の管理運営能力を高め、大学の中核への女性教員の参画を推進する。
- II 女性を含む若手研究者の在職率を高めるとともに、キャリアパスを整備する。
- III より広いダイバーシティ研究環境形成の観点から、グローバル人材を積極的に採用・登用する。

数値目標

女性研究者の採用比率 25%* ⇒ **28%**

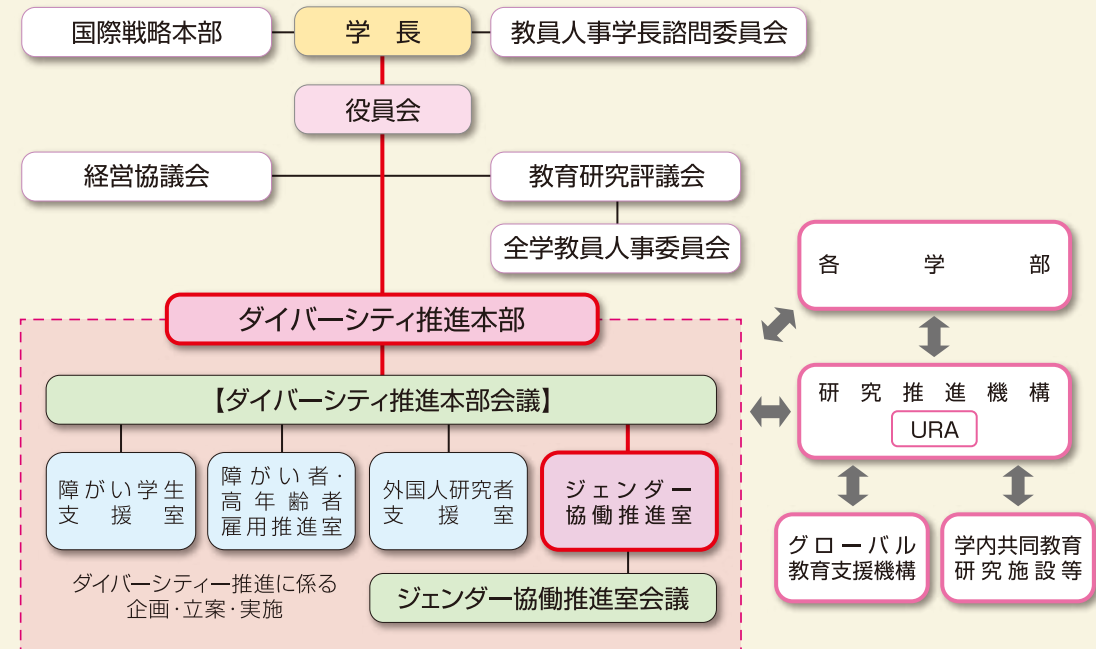
女性研究者の在職比率 19%* ⇒ **21%**

女性研究者のポストアップ比率 **17%以上**〈新規目標〉

本務教員全体における40歳未満の割合 **20%以上**〈新規目標〉

*特色型事業(H27-R2年度)における目標値

組織体制図



HP・ニュースレター等による情報発信・報告

先端型に特化したHPの開設、ニュースレター等の作成を通して、情報発信及び報告をおこないました。

◆先端型HPの開設

<http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/sentan/>



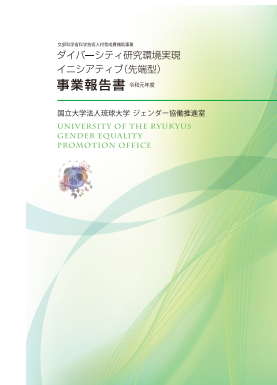
◆ニュースレター「うない通信 for 先端型」

Vol.1 令和2年1月発行
Vol.2 令和2年3月発行

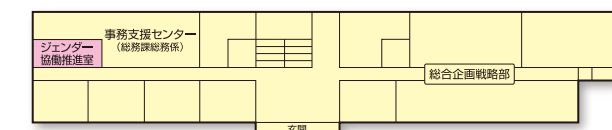


◆先端型事業報告書

令和元年度 令和2年3月発行



大学本部棟 1階 案内図



国立大学法人琉球大学 ジェンダー協働推進室

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
TEL 098-895-8675 FAX 098-895-8760
Email gender@acs.u-ryukyu.ac.jp
<http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/sentan/>

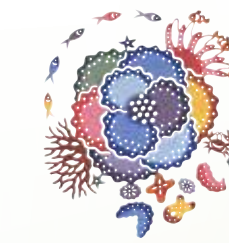
令和2年3月発行

文部科学省科学技術人材育成費補助事業

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型) 事業報告書 令和元年度

国立大学法人琉球大学 ジェンダー協働推進室

UNIVERSITY OF THE RYUKYUS
GENDER EQUALITY
PROMOTION OFFICE



女性研究者の上位職登用推進及び 管理運営能力向上のための取組

◆教員ポスト戦略的再配分(重点改革推進枠)による女性教授限定公募

特に上位職における女性比率の低い自然科学系部局等を対象に、女性教授の比率向上を図るべく、「琉球大学教員ポスト戦略的再配分(重点改革推進枠)」を活用した新たな方策として「自然科学系分野における女性教授限定公募」を実施し、令和元年12月に、医学部附属病院初の女性教授が誕生しました。
また、令和元年度学内公募の結果、理学部と工学部において女性教授限定公募を実施することが決定しました。

◆国際学会派遣+1 Visit

国際学会等での研究成果発表のための渡航に合わせて、国際共同研究の推進や新たな研究ネットワークの構築、教育研究機関等の管理運営に関する先進的な取組の調査を行う際の派遣(+1 Visit)に係る旅費・学会参加費等を助成しました。採択された1名が利用しました。

申請資格

本学に在職する女性の教員で教授・准教授・講師の職にあるもの(特任教員及び特命教員は除く)

補助対象

下記の要件を満たす出張を対象とする。

- 令和2年3月31日までの間に、国外で開催される国際学会等で本人が自ら研究成果発表をおこなうもの。
原則、令和2年3月31日までに帰任するものに限る。
- 国際共同研究を推進するためのミーティングや新たな研究ネットワークの構築等の研究に関連する訪問、または教育研究機関等における管理運営に関する先進的取組の調査を目的とした訪問を、「+1 Visit」として学会参加のための渡航に合わせて旅程に加えることとする。

国際学会派遣+1 Visitを利用して

国際地域創造学部 国際言語文化プログラム 講師 金藤 多美子

今年度、ジェンダー協働推進室「国際学会派遣+1visit」で補助をしていただき、2019年10月17-19日にクロアチアのスプリットで開催されたCARN-ALARAConference (Collaborative Action Research Network及びAction Learning, Action Research Association主催)で研究発表をさせていただくとともに、University of Osijekの3名の研究者にヒアリングをさせていただく機会を得ました。

学会発表は学会誌への投稿の機会に繋がったとともに、専門分野であるアクション・リサーチの知識のアップデートや世界各国からのアクション・リサーチャーとのネットワークのための貴重な機会となりました。

また、ヒアリングを通して、クロアチアにおける教員養成の取り組み、特に、学生・現場の学校教員・大学教員の3者によるトライアングル型のコラボレーション体制が充実していることを知り、今後の本学での教員養成カリキュラムを構築する上で大いに参考にできる点がありました。

さらに、ERASMUS (EU加盟国間の人物交流協力計画)基金を利用し、University of Osijekへ調査研究のための派遣も可能であるとお話をいただき、今後、夏季休暇等を利用した渡航を目指して計画を進めていきたいと思っています。

また、これを機に、東欧・中欧地域との外国語教員養成に関する研究提携ができればと考えています。今回の制度を利用させていただくことにより、学会発表だけでは得られない学び、繋がり、及び、さらに研究を深めるための新たな方向性を得ることができ大変感謝しております。本当にありがとうございました。



◆オーガナイザー養成支援

学内だけでなく、学会や委員会等の企画や運営においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目的とし、女性教員自らがオーガナイザーとして企画・運営に携わるセミナーやシンポジウム等の実施に係る費用を助成しました。
採択された2名の内、1名が利用しました(1名は新型コロナウイルスの影響により開催が中止となりました)。

申請資格

本学に在職する女性教員(特任教員及び特命教員は除く)

補助対象となるプログラム

女性教員自らが主催者として企画し運営する研究発表会、セミナー、シンポジウム等。学外から講師またはゲストを招聘し、当該年度末までに実施することを条件とする。
プログラムの内容や招聘者との連絡・調整を始め、開催に係る広報や会場設営等の事前準備、当日の進行等の運営については、女性教員自らがリーダーシップを発揮して進める(必要に応じてジェンダー協働推進室がサポートする)。

オーガナイザー養成支援を利用したシンポジウム開催について

教育学部 技術教育専修 准教授 岡本 牧子

教育学部技術教育専修では、小学校プログラミング教育の必修化や高校での情報分野必修化、さらには大学でも数理、データサイエンス、AI教育重点化が図られている状況において、あらゆる学校現場と具体的な情報共有を行う必要がありました。
本支援によって、プログラミング教材Scratchを用いた機械学習を学習するソフト「ML2Scratch」を開発された石原淳也氏をお招きし、講演・実践・パネルディスカッションを行う事ができた事により、その一歩を踏み出す事ができました。
参加された学校現場の方々からは継続的な開催を求める声もあり、今後の活動にも活かせる会となりました。
また、本支援により託児室を設置できたことは、同世代の方々々と研究を行う上で大きな経験となりました。



◆女性教員海外調査派遣制度

将来リーダーとして大学を牽引する人材を育成し、女性教員のキャリアアップ、上位職登用を推進することを目的に、一定期間職務を免除し、海外の研究機関において研究及び大学運営に関する調査に専念できる環境を提供する制度を新たに設け、令和2年度利用者を募集しました。

申請資格・要件

本制度を利用できる女性教員は、次の資格・要件を全て満たしているものとする。

- 准教授・講師の職にあるもの(特任教員及び特命教員を除く)。
- 本学における在職期間が継続して3年を超えること。
- 本制度を利用後、5年以上本学で勤務することができること。
- 所属する部局等の長(所属長)が承諾すること。
- 一定日数を海外の教育研究機関等での研究又は学術調査に充てること。
加えて、当該機関において組織運営について学ぶ機会を計画に含むこと。

利用期間

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの1月以上6月以内の継続した期間
※その内の一定日数を本学以外の教育研究機関等での研究及び組織運営に関する調査に充てること。

◆メンター制度

メンター制度の再整備に向けて、メンターとしての役割やコミュニケーションにおける基本姿勢等、メンタリングの基礎を学ぶことを目的としたメンタリングセミナーを開催しました。教職員20名が参加しました。

●メンタリングセミナー

「メンタリングとは? ~効果的な協働を目指して~」

日 時: 令和元年12月25日(水)

講 師: 梶原 多真季 氏(株式会社インソース)



◆イクボス養成

働き方改革やダイバーシティに関する意識啓発の一環として、イクボスについて学ぶことを目的としたセミナーを開催しました。教職員14名が参加しました。

●イクボスセミナー

「あなたもイクボスになりませんか?」

日 時: 令和2年2月13日(木)

講 師: 青木 朋博 氏(株式会社インソース)



より広いダイバーシティ研究環境形成のための取組

◆上位職育成研修(FD・SD)

大学の管理運営に携わる教職員を主な対象に、女性研究者の上位職登用、女性リーダーの育成をテーマに講演会を開催しました。教職員等90名が参加しました。

●第3回琉球大学未来共創フォーラム

「高等教育における女性のリーダーシップ
～津田梅子の後継者育成に学ぶ～」

日 時: 令和2年2月10日(月)

講 師: 高橋 裕子 氏

(津田塾大学 学長、
同大学芸学部英語英文学科 教授)



◆マネジメント研修

先進的な取組や好事例を有する教育・研究機関において、グローバル人材の採用や登用、女性研究者の上位職登用等について調査をおこなうため、神戸大学を訪問しました。

◆ダイバーシティに関するセミナー・シンポジウム

女性研究者の上位職登用、女性リーダーの育成、海外の教育研究機関における上位職としての経験や働き方をテーマに「先端型キックオフ講演会」(令和2年3月6日)を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。